

座談会 県南地域の活性化を考える

常陽新聞が本社を置いてある土浦市内では、全国の地方都市に共通の中心市街地の空洞化が進み、空き店舗対策として起業家支援のSOHOつちうらが開設され、新たなビジネス展開の模索が続いています。つくば市内は、つくばエクスパレス(TX)の開業を控え、都市と田園が調和した魅力の保全と活用が問われ、少子高齢化に備える市民による子育て支援や、科学技術の成果を民間に橋渡しする産学官連携の具体化が注目されます。きよは、土浦・つくば地域で活躍の皆さんに、それぞれの事業・活動を紹介いただいたうえで、地域の特性や時代のニーズの変化を踏まえた地域活性化のあり方について話し合っていたきたいと思います。(司会者あいき)

環境、少子化もテーマ

コンソーシアム化で活路

【坂本】まず二十一世紀企画は地域計画的な取り組みで、画のコンサルタントで算が減ったほか、一般競争入札やコンペに参入したとしても、下請けの加った仕事は実績として評価されず地域で新しい事業を起すことが難しい状況です。取材で得た人のネットワークや知識を生かす、同じような考え方の人のコンソーシアム化が鍵です。茨城県内には特別大きな産業分野でも、農業や環境分野でどんな利用が可能か、提案していきたい。環境事業では、ミャンマーで竹炭を生産し日本国内で販売しています。竹炭の販売だけでなく、工業的な二次利用をめざし研究を行っています。

ITを活用、環境分野へ



河合 通之さん

産学官で地域おこし

コミュニティビジネス支援も

竹炭の二次利用を追求

【坂本】続 Tを道具に環境分野でいて、電腦脳 仕事をしたいのです。の河合さん、が、実際にはIT事業をお願いしま の比重が大きい。【河合】設 ジニアやプログラマー 立してまだ二 の養成です。形核化し 年の会社でよ た情報処理技術者試験 ちよち歩き のに代わるものとして経 段階です。I 済産業界が取り組んで



島袋 典子さん

【坂本】続いて、つ ンラボの島袋さん、お 願ひします。【島 袋】二年 数カ月前 ら持っていました。イ ンキューションは、 ベンチャービジネスの 設立しま したが、 世界の言葉なので、先 端技術に関することだ けのようですが、私 学官連携とコーディネ

は、大学発ベンチャー だけだなく、地域ニ ーズにこたえるコミュニ ティビジネス的な創業 支援もあると思いま す。私自身コミュニティ ビジネスをやっている 感じは、株式会 社・NPOなど運営の 形態を問わず、何か始 めたい人の相談に乗っ たり、つくば市の委託 でコーディネートの仕 事をしています。「産 学官連携とコーディネ

【島袋】都市計画で は建築というハードな イメージがありますが、 筑波大学の都市計 画はソフト面を重視し ています。図面を書 いただけではダメで、いかに生活を成り立たせ るか、インフラの維持 はどうするか、都市経 営のスタンスがますます必要になってい きます。

「何でも一番」に挑戦



関 浩一さん

【坂本】次につくば 牡丹園の関さん、お話 してください。【関 浩一】ボタンを 一をめぐって運営して います。敷地面積は駐車場を 合わせて一畝で、ボタ リ、ツツ ン四百五十種九千株、

出席者 (順不同・敬称略)

- | | |
|--------|--------------------|
| 相沢 冬樹 | 二十一世紀企画主任研究員 |
| 河合 通之 | 電脳郷代表取締役 |
| 島袋 典子 | つくばインキューションラボ代表取締役 |
| 関 浩一 | つくば牡丹園園長 |
| 高橋 仁美 | つくば環境フォーラム代表 |
| 田中 ひとみ | つくば環境フォーラム代表 |
| 根本 健一 | ルーラルカンパニー吉瀬代表取締役 |
| 平塚 知真子 | ままとーん代表 |

(司会) 坂本 常陽新聞新社代表取締役社長

竹炭をいかにIT分 野と結びつけて活用す ない段階ですが、パン 用できないかというこ ころをテーマにしてい きます。

ボタンといえば盆栽 のイメージですが、ボ タンの成長に盆栽はよ くないので、密集型の 植栽を研究し定着させ ることができました。 密集型栽培で発生しが ちな連作障害も、微生物の利用で克服しまし た。ボタンの開花の関 係で、営業期間が三方 月程度にとどまるた め、ハープ栽培にも注 目しています。

ITで「土浦総合案内」

安価にHPの 作成・更新業務

【坂本】つちうらネ めお話しください。 ットプレスの高橋さ 【高橋】会社設立は ん、SOHO(スモー 昨年ですが、今年の一 ルフィス・ホームオフ 月土浦市が「SOHO イス」応募の経緯を含 つちうら」の入居者募

集をしているのを知 り、町なかの方が情報 を集めやすいと考え心 算しました。地域ホー ムサイトを「土浦総合 案内」を運営し、市内 のお店や会社、イベン ト情報やニュースを無 料配信しています。現 在アクセス数は一日平 均三百件程度です。

【坂本】次につくば 環境フォーラムの田中 さん、お願いします。

【田中】自然と人と の共存をテーマに地域 活動地域は大きく分け て霞ヶ浦の水源になっ ている筑波山と、筑波 山と霞ヶ浦の間に広が る里山の二つです。 里山は経済的価値が 失われた中で開発の波 にさらされ、担い手も 少ないため荒れていま す。つくばエクスパ レスの開発地域の周り にはまだ里山の雑木林 がたくさん残っていま

筑波山、里山の保全

循環型社会めざす 下草や小枝の有効利用

【坂本】次につくば 環境フォーラムの田中 さん、お願いします。

【田中】自然と人と の共存をテーマに地域 活動地域は大きく分け て霞ヶ浦の水源になっ ている筑波山と、筑波 山と霞ヶ浦の間に広が る里山の二つです。

【坂本】次 つて事業を起こしまし た。私自身農家の長男 です。以前の農家は、 作物を作る野良仕事、 里山経営、農閑期に農 業資材を作る手仕事の 三つを組み合わせて生 活を支えていました。 これを今日のニーズ に対応する事業を開発 して再現しようと思っ ています。近年、農水省 が力を入れているグリ ーンツーリズムを先取 りして感じもありま すね。都市的サービ スをしていられる方も



県南地域の活性化をめくり語り合う皆さん=サンライク土浦(土浦市港町)

【坂本】つちうらネ めお話しください。 ットプレスの高橋さ 【高橋】会社設立は ん、SOHO(スモー 昨年ですが、今年の一 ルフィス・ホームオフ 月土浦市が「SOHO イス」応募の経緯を含 つちうら」の入居者募



田中 ひとみさん

【坂本】次につくば 環境フォーラムの田中 さん、お願いします。

グリーンツーリズム先取り

【坂本】次 つて事業を起こしまし た。私自身農家の長男 です。以前の農家は、 作物を作る野良仕事、 里山経営、農閑期に農 業資材を作る手仕事の 三つを組み合わせて生 活を支えていました。 これを今日のニーズ に対応する事業を開発 して再現しようと思っ ています。近年、農水省 が力を入れているグリ ーンツーリズムを先取 りして感じもありま すね。都市的サービ スをしていられる方も

34面からの続き
 最近、農村の魅力を
 一人です。かつての母
 屋は改造して、もてな
 しができる食事処(どし、非営利活動としてい

楽しく子育て支援

自分も成長できる情報



【坂本】「坂本、お願いします。」
 【平塚】「ままとーん
 になりま
 育て支援
 のNPO
 法人まま
 とーんの
 平塚さ

て、かつて筑波地方の
 農家が利用していた風
 車の復元、石蔵の倉庫
 など歴史的建造物のリ
 ノベーションを計画し
 ています。

す。ままとーんの「と
 ーん」は音色で、音楽
 を奏でるように楽しく
 活動しようとするだけ
 した。

子どもが生まれる
 と、安心できる病院を
 はじめ、子連れで食事
 のできる店など必要と
 する情報が全く変わる
 のですが、それがどこ
 にあるのか分からない
 い。若葉マークの、そ
 して転入したお母さん
 に共通する悩みです。

夫は従来通り仕事だけ
 で頼りにならない(笑
 い)。男性と同じよう
 に勉強を仕事をして
 きた若いお母さんにと
 って、生まれた子ども

もはかわいいが、二十
 四時間せ自分だけが
 子どもの世話をしなけ
 ればならないのか(笑
 い)。疑問があります。

そんな中で、ままと
 ーんは、地域の中で、
 子どもと一緒に自分自
 身も成長できる情報と
 は何かを考えながら提
 供に努めてきました。

お母さんたちのため、お
 母さんによる、お母さ
 んの団体です。

育児情報誌やホーム
 ページによる情報提供
 のほか、出合いの場づ
 くりにも力を入れてき
 ました。

転動族の多いつくば
 は、一度友達ができ

地元が気づかない長所

ヨソ者の活用



相沢 冬樹さん

【坂本】
 ひと通り話
 していただ
 きましたの
 で、後半は
 地域の活性
 化にかかわ
 るような提
 案をうかがい話し合い
 たいと思います。

【相沢】つくばの研
 究機関からのプレスリ
 リースはホームページ
 でも公開され、読むと
 面白いですね。優れた
 研究成果を競うように
 誇っているのだけれど、
 ど、実用化・産業化さ
 せていくか、もっ
 と議論されていい。歴
 史をひもとして未来に
 つなげていくことが地
 域の合意形成のうえで
 も大事だと思います。

【高橋】土浦に嫁い
 だ二十三年前は、活気
 がありましたが、気づ
 くとシャッター街にな
 っていました。土浦に
 はいいものがたくさん
 あるのに、近くにいな
 くて気づかないのか、
 町を宣伝するのが下手
 だなあと思いました。

【根本】先日、復
 元した風車のお話を
 紹介され、地元のお年
 寄りがとても喜んで
 くれました。自分が
 やっていたことの延
 長線上にあり、誇り
 が持てたからだと思
 います。

【河合】いったん東
 京などに就職してウタ
 立ちがらがない。

【田中】里山の保全
 活動の中で、たくさん
 の下草や小枝が出てき
 ます。これを活用しな
 いと地域における循環
 が実現しません。堆肥
 が実現しません。堆肥
 化し農地に投入すれば
 疲弊した農地が生き返
 り、安全でおいしい食
 べ物ができて地産地消
 が進みます。当法人で
 実施している「幼児と
 お母さんのための自然
 体験教室」は大変人気
 があり、親子で自然と
 触れ合いたい、豊かな
 自然のある土地で子育
 てたいというニーズ
 が強まっています。

【坂本】「本日のヨソ
 者の利用には同感で
 す。地元の人には慣れ
 なくて気づかないでい
 るよさを、ヨソ者には
 分かることがある。ヨ
 ソ者の経験、ネットワ
 ークをうまく生かした
 ところが地域を活性化
 させると思います。」

【坂本】本日のヨソ
 者、手を挙げて下さい
 (笑)。八人のうち五
 人です。

風車復元が喜ばれた意味

歴史的価値を
 未来につなぐ



根本 健一さん



高橋 仁美さん

【根本】先日、復
 元した風車のお話を
 紹介され、地元のお年
 寄りがとても喜んで
 くれました。自分が
 やっていたことの延
 長線上にあり、誇り
 が持てたからだと思
 います。

【相沢】つくばの研
 究機関からのプレスリ
 リースはホームページ
 でも公開され、読むと
 面白いですね。優れた
 研究成果を競うように
 誇っているのだけれど、
 ど、実用化・産業化さ
 せていくか、もっ
 と議論されていい。歴
 史をひもとして未来に
 つなげていくことが地
 域の合意形成のうえで
 も大事だと思います。

【高橋】土浦に嫁い
 だ二十三年前は、活気
 がありましたが、気づ
 くとシャッター街にな
 っていました。土浦に
 はいいものがたくさん
 あるのに、近くにいな
 くて気づかないのか、
 町を宣伝するのが下手
 だなあと思いました。

【河合】いったん東
 京などに就職してウタ
 立ちがらがない。

【田中】里山の保全
 活動の中で、たくさん
 の下草や小枝が出てき
 ます。これを活用しな
 いと地域における循環
 が実現しません。堆肥
 が実現しません。堆肥
 化し農地に投入すれば
 疲弊した農地が生き返
 り、安全でおいしい食
 べ物ができて地産地消
 が進みます。当法人で
 実施している「幼児と
 お母さんのための自然
 体験教室」は大変人気
 があり、親子で自然と
 触れ合いたい、豊かな
 自然のある土地で子育
 てたいというニーズ
 が強まっています。

もう一つ先のサービス

【坂本】「坂本、お願いします。」
 【平塚】「ままとーん
 になりま
 育て支援
 のNPO
 法人まま
 とーんの
 平塚さ

【田中】里山の保全
 活動の中で、たくさん
 の下草や小枝が出てき
 ます。これを活用しな
 いと地域における循環
 が実現しません。堆肥
 が実現しません。堆肥
 化し農地に投入すれば
 疲弊した農地が生き返
 り、安全でおいしい食
 べ物ができて地産地消
 が進みます。当法人で
 実施している「幼児と
 お母さんのための自然
 体験教室」は大変人気
 があり、親子で自然と
 触れ合いたい、豊かな
 自然のある土地で子育
 てたいというニーズ
 が強まっています。

あるサービスの仕方
 を考えたい。

【坂本】関さん、つ
 くば市内に広い土地が
 あることは、TXの開
 通もあるので立地面で
 大変優位ですね。

【関】花は癒やし系
 で今、人気があります
 が、受け身の仕事なの
 で、次は攻めていこう
 と、農業後継者の養成
 を考えています。五年
 間、無農薬で花づくり
 をしてきたノウハウを
 生かし、安全な米や野
 菜を提供する後継者の
 育成です。

ある会で、アメリ
 カのロッキー山脈の地
 下水が枯渇し、地下水
 に頼っている農業が危
 ぶまれると聞いたのが
 ヒントになりました。

中国産の輸入野菜も農
 薬つけて問題が出てい
 ます。若い後継者に、
 先ほど田中さんが話し
 ていたような循環型の
 安全な食べ物づくりを
 教えていきたい。

【田中】「環境と共生するま
 ち」をめざすTX沿線
 の整備でも自然をいか
 に残し地域資源として
 いくかは大きなテーマ
 です。私たちは自然が
 好きな人、将来保全を
 担ってくれる人々にせ
 ひ移り住んでほしいと
 願っています。

【坂本】東京の人も
 手伝う機会があれば。

【田中】イギリスの
 ワーキングホリデーの
 例があります。休日に
 つくばに来て、下草刈
 りなどの作業を手伝っ
 てほしいというニーズ
 が強まっています。

【坂本】「本日のヨソ
 者の利用には同感で
 す。地元の人には慣れ
 なくて気づかないでい
 るよさを、ヨソ者には
 分かることがある。ヨ
 ソ者の経験、ネットワ
 ークをうまく生かした
 ところが地域を活性化
 させると思います。」

【坂本】本日のヨソ
 者、手を挙げて下さい
 (笑)。八人のうち五
 人です。

試される地域の総合力



司会・坂本榮社長

【相沢】つく
 ば周辺のパンチ
 ャーとして可能
 が大きいと思え
 るのは農業分野
 だと思っています。

田中さんのいう「出
 口」の問題ですが、里
 山の下の草も、霞ヶ浦湖
 岸のヨシも搬出してリ
 サイクル利用しないと
 環境の改善にはつな
 げられない。実際に運
 び出す担い手が必要
 です。

ところが一定規模以
 上になると産業廃棄物
 処理法の適用を受け
 たり、農業ベンチャー
 として立ち上げるに
 いろいろ制度面の壁が
 あります。これを動か
 すことができれば、農
 業分野で三次産業に近
 い雇用を生み出すこ
 とができる。

【高橋】ITの活用
 で販路を広げるのも一
 つの方法ですが、要は
 人と人とのつながり、
 がどうございました。

【坂本】長時間あり
 がとうございました。